

研修報告書

報告日 2021年11月11日

担当 指導者部

概要	実施日時	2021年10月24日 9時～16時
	場所	神戸市垂水健康公園
	活動内容	2021年度第5回 審判インストラクタートレーニングセンター
	講師	主：長岡康規
	運営	内橋克博、中村正光、神田哲也
	受講者	川島陽治、小河良洋、布元淳智
	テーマ	アナリシス・チュータリング（フィードバックの実践）

要旨	項目	写真
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・内橋指導者部長より 年8回講座の内、半分が過ぎた。今回は講義室がない「青空教室」になるが、2試合連続観戦と振り返り、といった実践形式で進めていきたい。 主講師として、長岡先生にお越しいただいた。とても貴重な機会なので、1つでも多くの学びを得て欲しい。 	
講義要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケート結果を元に 長岡先生が率先して研修前に受講者へアンケートを取られ、その中の「今悩んでいる事」について、助言、進言、回答するセッションを行った。 	
内容	<p>【試合観戦①】 神戸市社会人リーグ1部 9:30 kick off kawasaki (A) vs ラファガ</p> <p>主審：別處大輝 副審：帯同</p> <p>主審の動き-判定等を観察し、指導ポイントをまとめる。</p>	
	<p>【試合観戦②】 神戸市社会人リーグ1部 11:20 kick off 神戸FC vs エスペランサFC</p> <p>主審：藤原悠人 副審：帯同</p> <p>主審の動き-判定等を観察し、指導ポイントをまとめる。</p>	
	<p>【フィードバック①】担当：川島氏</p> <p>1試合目である別處審判員のパフォーマンスについて、川島氏が振り返りを行った。</p>	
	<p>【フィードバック②】担当：長岡氏</p> <p>川島氏が別處審判員へのフィードバックを行った後、長岡先生からそのパフォーマンスについての振り返り（検証・改善・実演）を行った。</p>	

		<p>【フィードバック③】担当：長岡氏</p> <p>2試合目である藤原審判員のパフォーマンスについて、全員で振り返りを行った。 このセッションは、「良かった点、課題点、指導ポイント」を紙に書いて発表し、長岡先生から指導をいただいた。</p>	
	添付資料	スケジュール表	
	感想	<p>主講師の長岡先生は、事前準備（受講者へのアンケート調査を実施）と本編、そして閉講後にも数日かけてアフターフォロー（関連資料の提供等）をされており、今回のイントレの一連のやり取りや流れを見た際に“指導のあり方・理解の深め方”を改めて知り、感じた1日でした。</p> <p>その細やかさに驚くとともに振り返りの振り返りの場面（川島氏への指導ならびに審判員への助言）では、ご自身が審判員に対して実演することで、直接肌で感じ得たことが何より大きな収穫となりました。</p> <p>「何故その動きをしたのですか」「あの判定はどう見ました」「アドバンテージをかけた時の位置はどこでしたか」等を相手の考えや判断を尊重しつつ、うまく意見を引き出されていました。「では、次どうすればもっと良くなるとおもいますか」「なるほど、そういうことですよね」と、会話するに連れ審判員の表情が明るく豊かになり、【自ら考え、自然な形で答えへと導いていく】その光景はまさにチュータリングの究極形を見た気がします。</p> <p>この貴重な体験を次の場面で活かし、発揮できるよう“チームとして”取り組んで参ります。</p>	
	[備考] [気づき]	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の反省を活かし、ビデオとipadとの2機で撮影に臨んだ。 ・フィールシートが活用できた。 ・会議室がない場面において、画用紙とペンの有効性をより感じた。 	

2021年度 第5回 兵庫県イントレ【アナリシス】

研修主管	兵庫県サッカー協会 審判委員会 指導者部会	実施日	2021年10月24日(日)				
開催場所	垂水健康公園	大会	神戸市社会人リーグ				
研修内容	試合観戦、分析、課題抽出 模擬フィードバック実践 アセスメントレポート提出						
目的・狙い	フィードバックスキルの向上(試合観戦し、フィードバックの実践を行う) 事象分析(事後提出)						
備 品	ビデオカメラ、三脚、画用紙、マジック 受講参加者準備: 競技規則、コンシダレーションポイント、筆記用具						
参加者	講 師	長岡康規					
	スタッフ	内橋克博、中村正光、神田哲也					
	受講者	川島陽治、小河良洋、布元淳智					
日	時間	内 容					
24 日	8	グラウンド入り口付近集合(9:00) 研修会説明 担当:内橋		集 合	9:00		
	9	試合観戦① 社会人リーグ1部 9:30kick off		解 散	16:00		
	10	K a w a s a k i (A) vs ラフアガ 主審:別處大輝		開催概要			
	11	試合観戦② 社会人リーグ1部 11:20kick off		会場 垂水健康公園 住所 〒655-0852 神戸市垂水区名谷町 字丸尾 試合 神戸市社会人リーグ1部			
	12	神戸FC(C) vs エスペランサFC 主審:藤原悠人					
	13	フィードバック(試合観戦②) INS:川島 休憩					
	14	フィードバック(試合観戦②)振り返り 担当:長岡 試合分析(試合観戦①) INS:小河、布元、(川島)					
	15	試合分析(試合観戦①)振り返り 担当:長岡					
	16	事務連絡・解散					
	17						
						備 考	
						2試合続けて試合観戦するため、昼食時間が十分確保できていません。大変申し訳ありませんが、ハーフタイムや試合の間で各自調整していただき昼食を取ってください。	
【参加者の皆さまへのお願い事項】							
●参加当日、健康管理チェックシートのご提出をお願い致します。 ●イントレ終了後に課題提出があります。課題については研修会で説明します。							

研修報告書

報告日	2021 年 12 月 2 日
担当	指導者部

概要	実施日時	2021 年 11 月 21 日 9 時 ～ 17 時
	場 所	加古川陸上競技場および会議室
	活動内容	2021年度 第6回 審判インストラクタートレーニングセンター
	講師	主：鳥家浩司 副：梶山勝弘
	運 営	内橋克博、神田哲也
	受講者	川島陽治、小河良洋、布元淳智
	テーマ	アナリシス・チュータリング（フィードバックの実践）

	要 旨	写 真
内容	挨拶 ・内橋指導者部長の挨拶 全8回講習も残りも少なくなってきた。より実戦を積んでいただくために試合観戦・分析・フィードバックを本日実施する。過去に習得したスキルをこの場で発揮していただきたい。	
	講義要旨 ・復習[担当：鳥家氏] アナリシスとチュータリングについて、再確認を含め、改めてレクチャーいただいた。 試合分析と振り返りをするにあたり、的確かつ審判員が納得する思考と指導方法を身に着ける。	
	実技要旨 ・試合観戦 [社会人都市決勝リーグ 決勝大会] 神戸ビートルズ (A) 対 三菱神戸 R:大槻隼人 AR1:朝井隆浩 AR2:小林孝至 主審の動き・判定等を観察し、指導ポイントを纏める。	
	・審判員へのフィードバック[担当：布元氏] 試合後、審判団に残っていただき、フィードバックを行った。まずは試合を終結させ、高パフォーマンスを見せた3人を褒め称える。 次に試合結果や懲戒罰の有無とその理由などを聞き、その後主審の動きや判定、マネージメント、副審との協力について、様々な視点から主審の考え、判定基準を引き出した。課題点については、具体事例を出し、「何故そうしたのか」「どうすればより良い判定に繋がるのか」を考えさせた上、適切な答えへと導いていった。	
	講義要旨 ・フィードバックの振り返り[担当：鳥家氏] 本人へ指導する前に第三者的立場として受講者2名から感想（気づき）を聞き、これまでの習得したスキルを発揮できたかを検証した。 その後、鳥家講師から良かった点、指摘点が出され、また自分がどんなテンポで喋り、どう引き出したか、レフェリーの表情はどうだったか等、ビデオ撮影を並行して行い、“自己分析”にも着手した。	
	・映像分析[担当：鳥家氏] 試合中で気になった場面を映像（8シーン）で見返し、主にその判定に対して分析した。 ①判定の妥当性を検証 ②ポジショニングと動きを検証 ③改善ポイントの絞り込み	

<p>講義要旨</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像分析[担当：梶山氏] 映像を見て、瞬時に判定し、その根拠を的確に説明する。 ①判定結果 ②懲戒罰の有無（NF/F/Y/R） ③判定の根拠 ④考慮事項の優先順位 （コンタレーションポイント資料の活用） <p>JFA提供の映像を見て、考慮事項に沿って1つずつ当てはめながら正解へと繋げていった。</p>	
<p>添付資料</p>	<p>スケジュール表</p>	
<p>感想</p>	<p>今回も試合後に審判団の協力の下、実際に振り返りを行った。担当インストラクターであった布元氏は、参加者全員が固唾を飲んで聞いている状況の中、いささか緊張気味であったが、これまで学んできたものを発揮。20分の振り返りが終わった直後の感想として「伝えたいことの1/3程度しかできなかった。時間配分がうまくできなかった。」と悔し気な表情を見せた。</p> <p>課題点を伝える際に相手の考えを引き出させたとしても、自分が用意または想定した回答とのズレが生じていたり、導いていきたい方向とは少し違う方へ進んでいった場合等、決められた時間内に伝えるべき内容や助言を全てクリアすることは難しい作業であるように感じた。</p> <p>ただ、イントレで鍛えてきた分析力や伝達力は確実に向上しており、今後経験を積んでいくことで、よりの確で納得性の高いフィードバックへと繋がっていく“手応えを感じた1日”となった。</p>	
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東播協会一種委員会のご配慮により、会議室を使用させていただいた。 	

2021年度 第3回兵庫県インストラクタートレーニングセンター

研修主管	兵庫県サッカー協会 審判委員会 指導者部会	期間	2021/11/21(日)	ver.3	
開催場所	加古川陸上競技場	大会	2021県下社会人都市リーグ決勝大会 決勝リーグ		
会場/環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座学による講義、議論の実践 ・ 実試合を使った指導方法の実践 				
目的・狙い	審判インストラクターの指導技術向上と指導内容の統一化を目的とし、定期的なレクチャーと指導実践の場を提供する。				
備 品	ビデオ・三脚 ホワイトボード、プロジェクター、延長コード、フィールドシート、模造紙、マーカー(赤・黒・青) 受講参加者準備；競技規則2021/2022改正通達事項,コンシダレーションポイント,筆記用具、パソコン				
参加者	講師(関西派遣)	鳥家浩司氏(滋賀県)、梶山勝弘氏(兵庫県)			
	スタッフ	内橋克博氏,神田 哲也氏			
	兵庫イントレ参加者 (3名)	川島陽治氏,小河良洋氏,布元淳智氏			
時間	11/21(日) 兵庫イントレスケジュール		【MEMO】	受付 9:00～	
7			担当講師;鳥家氏 担当インス:布元淳智氏 担当インス:小河良洋氏 担当インス:川島陽治氏 担当;鳥家氏 担当;梶山氏	開始 11/21(日) 9:30	
8				終了 11/21(日)16:30	
		会場			
9	9:00	受付		加古川陸上競技場 加古川市西神吉町(かねえ)1050番地 TEL: 079-433-2662	
	9:30	開校式		http://www.kakogawa-sports.join-us.jp/index.php	
	9:45	アナリシス;理論編 振り返り		同競技場内 会議室	
10	10:15	アセスメントレポートの手引き			
11	11:00 kickoff	一種/都市リーグ決勝大会・80分 神戸ビートルズ(A) 対 三菱神戸 R:大槻隼人 AR1:朝井隆浩 AR2:小林孝至			
12	12:30	昼食			
13	13:15	I試合目の振り返り			
14	14:00	振り返りの振り返り			
15	15:00	振り返り			
16	16:00	判定についての演習	備 考		
16	16:30	解散			
17					
【参加者の皆さまへのお願い事項】 ●新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止の観点より、日頃より健康管理をされておらると存じます。つきましては、参加当日、健康管理チェックシートのご提出をお願い致します。 (受講生の皆さまは、兵庫審判指導者対応のシートで受講当日から遡って2週間前までの体温を記載したシートをご提出して頂きたい、ご対応お願い致します。)					

研修報告書

報告日

2021年12月17日

担当

指導者部

概要	実施日時	2021年12月12日 8時30分～16時
	場所	アスパ五色サブグラウンドおよび会議室
	活動内容	2021年度 第8回 審判インストラクタートレーニングセンター
	講師	主：鳥家浩司 副：佐野成
	運営	内橋克博、中村正光、神田哲也
	受講者	川島陽治、小河良洋、布元淳智
	テーマ	アナリシス・チュータリング（フィードバックの実践）

要旨	項目	写真
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・内橋指導者部長の挨拶 今回で最終回となる。これまでの研修の成果を今後は是非とも若手審判員に対して発揮していただき、成長へと繋がるような活動の推進をお願いする。 	
テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・競技規則テスト[担当：佐野氏] 試験時間30分、記述式の内容が実施された。様々な場面を想定した設問があり、苦戦された受講生もいたが、全員が高得点をマークする結果となり、インスト2級昇級テストへと繋がる時間でもあった。 	
講義要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックの流れ[担当：鳥家氏] 試合後に振り返りを行う際の注意点・留意点・配慮についてレクチャーいただいた。 伝える時の優先度（キーインシデントの有無/懲戒罰/判定精度/動き/マネジメント等）を事前に整理し、審判員が話しやすい環境を作った上で、相手の考えを引き出し、着地点へと導いていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・映像分析[担当：佐野氏] 映像を見て即座に判定（カードを提示）し、その根拠を考慮事項に沿って説明できるよう実践形式で進め、正しい判定ができるよう分析力を高めた。 *判定テスト（NF=緑, F=青, Y=黄, R=赤） *根拠と考慮事項を説明できる *再度映像を見て確認 *JFA見解と合致しているか（同判定かを）確認 *落とし込み（自己理解の達成） 	
実技要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・試合観戦 [兵庫県CYチャンピオンシップU14] エベユ 対 神戸FC R: 松本蓮 AR1: 小林顯太 AR2: 清大助 4th: 田内実 主審の動き・判定等を観察し、指導ポイントを纏める。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・審判員へのフィードバック[担当：小河氏] まずは審判チームに賞賛を送り、労う。 試合結果等を確認し、自身が掲げた目標に対して「できた事」「できなかった事」を聞き出した。判定に関しては、原則主審の判断を尊重するも外から見たインストとの見解に相違があった場面では、お互いの意見や考えを擦り合わせることでそのズレを修正し、次にどうすれば最良な判定ができるかを、具体的に示す（動き方・ポジショニング・フォーカスする部位等）ことで、より精度を高めるよう指導に務めた。 	

<p>内容</p>	<p>・ JFA研修参加報告 [担当：内橋氏] JFAハウス(東京)へ「チュータリング」の研修へ参加した。やっていることは県イントレと同じであったが、より分かり易く伝えることに焦点が合わされていた。また事前課題のテーマが壮大であったことで発表内容の構築に苦慮した点や当日審判員役に9割以上話してもらう場面を作ることが難しかった。 [担当：中村氏] 夢フィールド(千葉)へ主に「プラクティカルトレーニング」についての研修を受けてきた。 試合を見て審判員の課題を見つけ、それを元にトレーニングメニューを考案し、ボールと選手を使って考えた物を実際にフィールド上でやってみる。 課題点を繰り返してトレーニングさせることで、気づきや修正へと繋げていく。</p>	
<p>講義要旨</p>	<p>・ フィードバックの振り返り[担当：鳥家氏] これまでの習得したスキルを発揮できたかを検証した。回を重ねる毎に引き出し方、伝え方は上手くなってきてはいるが、構成力に少し課題が残っている。 例えば、ポジショニングが悪く判定できていない場面を「何故そうなったのかを”分かってもらうため”に何が足りていないのかを伝える」作業に対してもう少し具体的且つ深掘りしてみるとより理解が進むのではないかと、との提案・指導を受けた。</p> <p>・ 映像分析[担当：佐野氏] 試合中で気になった場면을映像(約10シーン)で見返し、主にその判定に対して分析した。</p> <p>①判定の妥当性を検証 ②ポジショニングと動きを検証 ③改善ポイントの絞り込み ④適切な指導方法</p>	
<p>添付資料</p>	<p>スケジュール表</p>	
<p>総括</p>	<p><山本委員長> 一年間お疲れ様でした。コロナ渦であったが、全日程を年末までに終えたことに感謝申し上げます。研修は一旦ここで終わるが、指導に終わりはない。 今後は研修で習ったスキルを若手審判員へ還元していただきたい。特に注意してもらいたいことは、エラーが起こった部分だけを見つけるのではなく、その前の【予測する所】から指導して行って欲しい。あとは、当人の良さを更に伸ばすような助言を添えることも忘れずに。これからも期待しています。頑張ってください。</p>	
<p>感想</p>	<p>今年度も新型コロナウイルスの影響で時にzoomにて研修を開催した回もありましたが、今回を以て全日程終了することができました。これもひとえに関西派遣の鳥家講師をはじめ関係された方々に感謝申し上げます。 佐野インストラクターから最後の挨拶の中で「習得したものを次に繋げていくこと。伝えていくことが大事である。」との発言を受け、受講された方々は県下ならびに都市協会で精力的に活動していただきたいと思います。 この1年を通じて、方法論や手法は一定の理解が深まったもの実際にやってみると後戻り(考えや見解を押し付ける、喋り過ぎる、答えを先に言う、落とし込みがうまくできない等)してしまう場面もあるかも知れませんが、今一度「誰の為に、何の為にするのか。」を思い起こし、今回学んだことを全方位へ発信していくことも大きな役割であると考えます。 今後は習得したスキルを活かし、審判員の良き相談役としてサッカー界を盛り上げ、支えていってください。 最後になりますが、来年度も各都市協会連携の元、開催していく予定ですので、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます、県イントレ最終回の感想といたします。ありがとうございました。</p>	
<p>備考</p>	<p>* 強化育成部・競技部と指導者部とが連携を取り、前日に第7回のイントレを開催した。(当該報告書は担当者不在の為割愛) 主講師：佐野成氏 内容：フィードバックの実践</p>	

2021年度 第4回兵庫県インストラクタートレーニングセンター

研修主管	兵庫県サッカー協会 審判委員会 指導者部会	期間	2021/12/12(日)	ver.4		
開催場所	アスパ五色サブグラウンドおよびクラブハウス2F会議室	大会	兵庫県CYチャンピオンシップ(U14)			
会場/環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座学による講義、議論の実践 ・ 実試合を使った指導方法の実践 					
目的・狙い	審判インストラクターの指導技術向上と指導内容の統一化を目的とし、定期的なレクチャーと指導実践の場を提供する。					
備 品	ビデオ・三脚 ホワイトボード、プロジェクター、延長コード、フィールドシート、模造紙、マーカー(赤・黒・青) 受講参加者準備；競技規則2021/2022改正通達事項,コンシダレーションポイント,筆記用具、パソコン					
参加者	講師(関西派遣)	鳥家浩司氏(滋賀県)、佐野成氏(兵庫県)				
	スタッフ	中村正光氏,神田哲也氏、内橋克博氏				
	兵庫イントレ参加者 (3名)	川島陽治氏,小河良洋氏,布元淳智氏				
時間	12/12(日) 兵庫イントレスケジュール		【MEMO】	受付 8:20～		
7			担当講師;佐野氏 担当;神田氏 担当;鳥家氏 担当インス:小河 良洋氏 担当インス:川島 陽治氏 担当インス:布元 淳智氏 担当;鳥家氏 担当;佐野氏	開始 12/12(日) 8:30		
8	8:20 受付			終了 12/12(日)15:30		
	8:30 競技規則テスト			会場		
9	9:00 開校式			備考		
	9:10 3回目のふりかえり					
10	10:00 kickoff	兵庫県CYチャンピオンシップ(U14) 30*2				
		R:佐々田 学 AR1:小林 颯太 AR2:藤原 悠人 4th:竹内 皓輝				
11	11:20	1試合目の振り返り				
12		昼食				
13	13:00	振り返りの振り返り				
14	14:00	振り返り				
		判定についての演習				
15	15:00	解散				
16						
17						
【参加者の皆さまへのお願い事項】 ●新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止の観点より、日頃より健康管理をされておらると存じます。つきましては、参加当日、健康管理チェックシートのご提出をお願い致します。 (受講生の皆さまは、兵庫審判指導者対応のシートで受講当日から遡って2週間前までの体温を記載したシートをご提出して頂きたい、ご対応お願い致します。)						